



株式会社 サンウェルズ  
SUNWELS

# 事業計画及び成長可能性に関する事項

---

2023年6月28日



# 目次

I.	会社概要	P.2 ~P. 8
II.	事業の内容	P.9 ~P.15
III.	市場環境	P.16~P.17
IV.	競争力の源泉	P.18~P.25
V.	事業計画	P.26~P.35
VI.	リスク情報	P.36~P.37
VII.	Appendix	P.38~P.42

# I. 会社概要

---



# 会社概要

社名	株式会社サンウェルズ 【英文名】 SUNWELS Co., Ltd.
本社	■ 東京本社 (東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸の内ビルディング9階) ■ 金沢本社 (石川県金沢市二宮町15番13号)
支社	■ 大阪支社 (大阪府大阪市北区堂島1丁目1番5号 関電不動産梅田新道ビル10階) ■ 福岡支社 (福岡県博多区博多駅前3丁目27-24 博多タナカビル5階)
代表者	代表取締役社長 苗代 亮達
設立	2006年9月
資本金	35,000千円 (2023年3月期)
従業員数	1,831名 (臨時雇用84名含む / 2023年3月31日現在) ※
事業内容	介護事業など (医療特化型住宅、デイサービス、グループホーム、福祉用具貸与等) ■ パーキンソン病専門介護施設「PDハウス」運営

※従業員数は就業人員であり、臨時雇用数 (パートタイマー及び嘱託契約の社員) については、年間の平均人員数 (1日8時間換算) を記載しております。



# 会社概要 経営体制



## 代表取締役社長 苗代 亮達（なわしろ りょうたつ）

1973年7月石川県生まれ。大学在学中に腎臓病を患い中退を余儀なくされる。以降19歳から25歳までの間、闘病生活の為に定職に付けない日々を過ごす。病状から回復した26歳の時に自身の闘病生活から病気の方に役立つサービスを作りたいと思い、父の会社である(有)アイテムを引き継ぎ、介護保険対象者向けの住宅改修事業を開始する。以降2006年(株)ケア・コミュニケーションズ、2007年(株)セントラルケアスタッフ、2008年(株)サライを創業し、2011年3社合併し(株)サンウェルズを設立し、地域にない新しい介護サービスを次々に展開し現在に至る。

## 専務取締役 越野 亨（こしの とおる）

元地方競馬会所属騎手。2004年に株式会社アイテム（現：当社）に入社。2015年に当社取締役就任。経営戦略部、開設支援部、運営支援部、開発部を管掌。

## 常務取締役 長山 知広（ながやま ともひろ）

作業療法士の資格を持つ。2009年に株式会社ケア・コミュニケーションズ（現：当社）に入社。2015年に当社取締役就任。人事部、採用部、サービス企画部を管掌。

## 常務取締役 上野 英一（うえの えいいち）

北陸銀行入行後、支店長、常任監査役を歴任。2009年にEIZO株式会社の常勤監査役に就任後、2016年に社外取締役就任。2018年に当社取締役就任。総務部、経理部、リスク管理部を管掌。

## 社外取締役監査等委員 畠 善昭（はたけ よしあき）

税理士法人畠経営グループ 代表取締役

## 社外取締役監査等委員 中西 祐一（なかにし ゆういち）

中西祐一法律事務所 弁護士

## 社外取締役常勤監査等委員 山本 英博（やまもと ひでひろ）

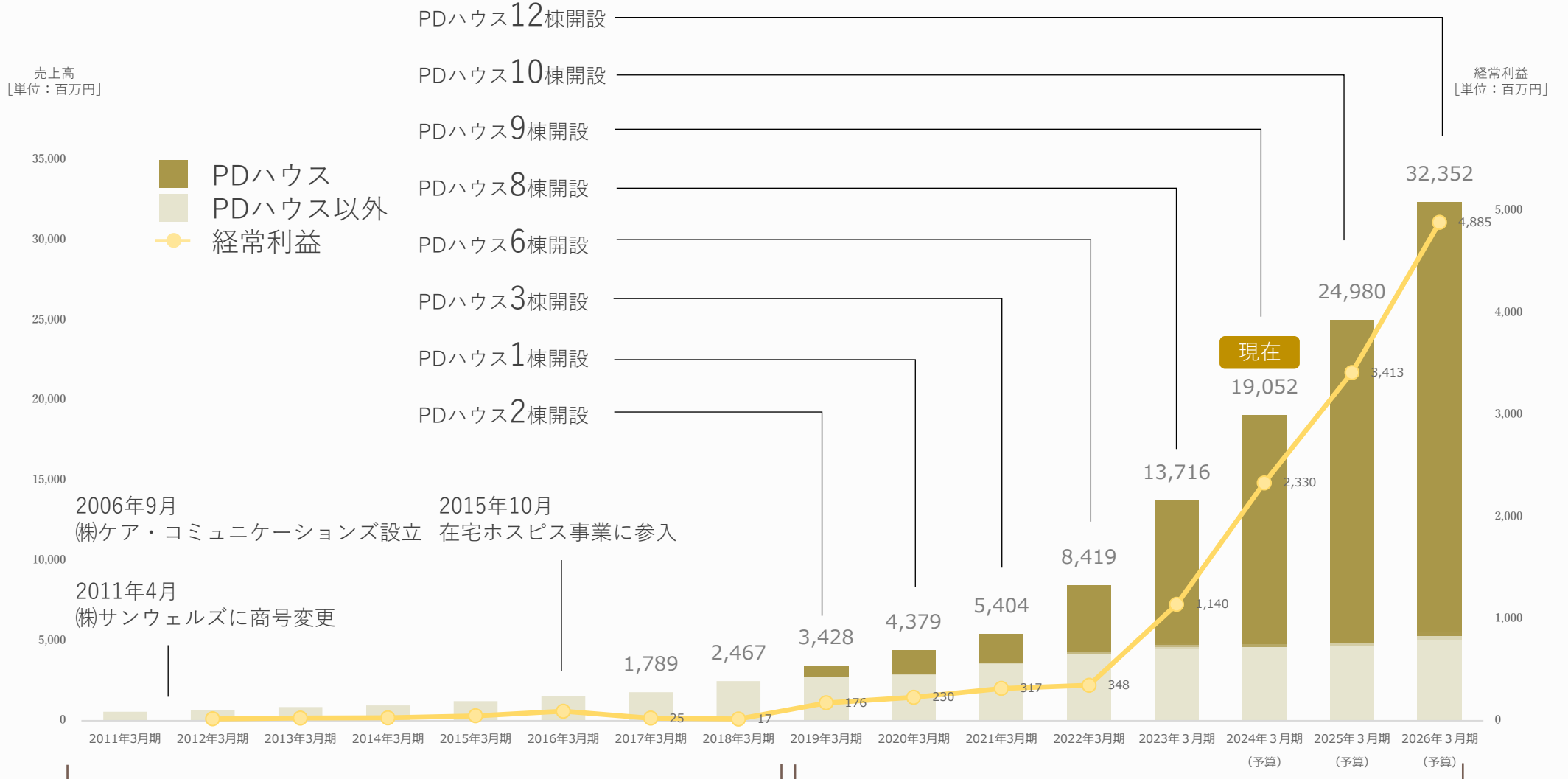
元 北國銀行 取締役監等委員

## 社外取締役監査等委員 中島 恵子（なかじま けいこ）

中島恵子税理士事務所 税理士



# 会社概要 沿革





# 会社概要

## 売上高構成比

(2024年3月期 / 予算)

	売上区分	施設数	売上 (百万円)	売上構成比
高 ↑ 収益性 ↓ 低	1 / PDハウス	31施設	16,246	85.3 %
	2 / 医療特化型住宅	5施設	1,754	9.2 %
	3 / 福祉用具事業	3営業所	440	2.3 %
	4 / デイサービス	6施設	401	2.1 %
	5 / グループホーム	2施設	165	0.9 %
	6 / 加圧トレーニング事業	2施設	43	0.2 %
	合計			19,052

成長ドライバー  
 全国展開加速中  
 今後は集中的に  
 PDハウスを新設予定

安定した経営基盤  
 北陸エリアで展開



# 会社概要

## 業態別売上構成比

### ■ 2023年3月期 業態別売上構成比 [売上高13,716百万円]

	保険売上 (介護・医療等)	食事提供売上	施設家賃売上	その他収入売上	福祉用具売上	加圧売上	合計
①PDハウス	65.2%	2.7%	5.6%	0.2%	—	—	73.7%
②医療特化型住宅	16.6%	0.8%	1.1%	0.2%	—	—	18.7%
③グループホーム	0.9%	0.1%	0.2%	—	—	—	1.2%
④デイサービス	2.6%	0.2%	—	—	—	—	2.8%
⑤福祉用具事業	2.6%	—	—	—	0.7%	—	3.3%
⑥加圧トレーニング事業	—	—	—	—	—	0.3%	0.3%
合計	87.9%	3.8%	6.9%	0.4%	0.7%	0.3%	100.0%





# 会社概要 サービス対象者

## ■ 介護施設の運営事業におけるサービス対象となる利用者

サービス	利用対象者	施設名（数） 2024年3月時点※予定
● パーキンソン病専門ホーム (有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅)	● パーキンソン病患者	● PDハウス (31)
● 医療特化型住宅 (有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅)	● がん等の難病患者、 要介護認定を受けた方、認知症患者	● 太陽のプリズム (5)
● 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	● 認知症患者	● 太陽のプリズム (2)
● 通所介護 (デイサービス)	● 介護保険認定を受けた方、認知症の方	● 太陽のひだまり (3) ● 太陽のリゾート (3)
● 訪問看護/介護予防訪問介護	● 介護保険若しくは医療保険の認定を受けた方で 健康上の問題や生活上の障害のある方	
● 訪問介護/介護予防・日常生活支援総合事業	● 介護保険認定を受けた方	
● 居宅介護支援	● 介護を検討されている方	
● 居宅介護/重度訪問介護	● 障害支援区分認定を受けた方	

## II. 事業の内容

---



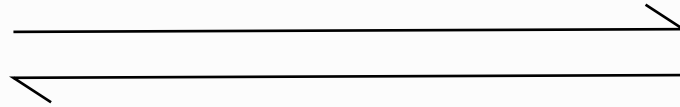
# 事業の内容    ビジネス構造

## ■ 介護施設の運営事業のビジネス構造



株式会社 サンウェルズ

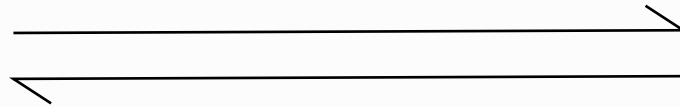
サービス提供



サービス利用者

保険報酬 / 自己負担金 (1~3割)  
ホテルコスト / 家賃、光熱費、食事代など

報酬請求



国民健康保険団体連合会  
社会保険診療報酬支払基金

保険報酬 (7~9割)



# 事業の内容 PDハウスの売上構造



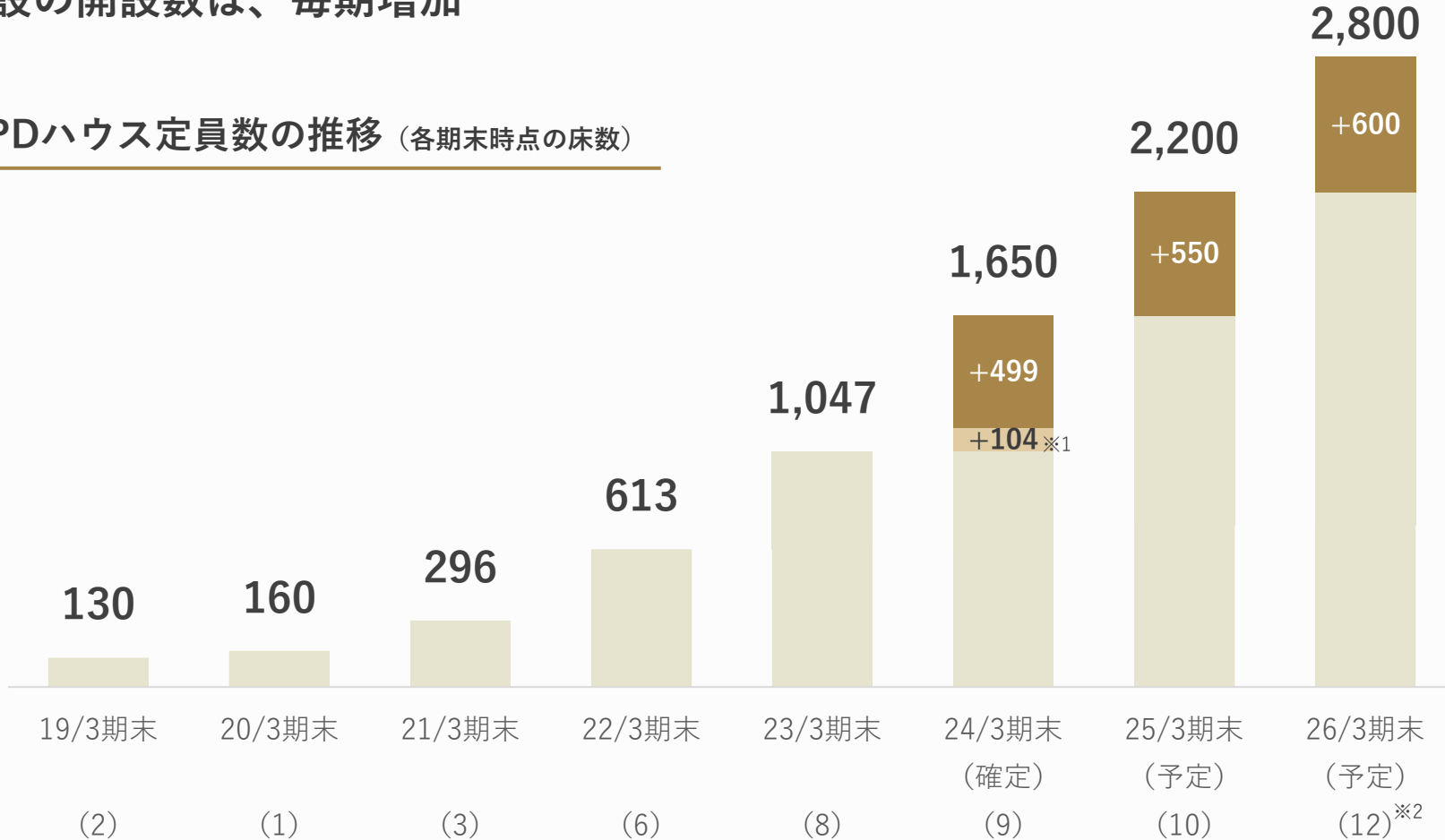
※単価はPDハウスの2023年3月期（2022年4～2023年3月）の総売上高を2023年3月期（2022年4～2023年3月）の総入居者数（1カ月入居した入居者を1人とカウントした総人数 \* 1カ月未満は日割り計算）で割った数字。



# 事業の内容 PDハウスの定員数

- 2026年3月期までに、定員数**2,800名**の展開を計画
- 新規施設の開設数は、**每期増加**

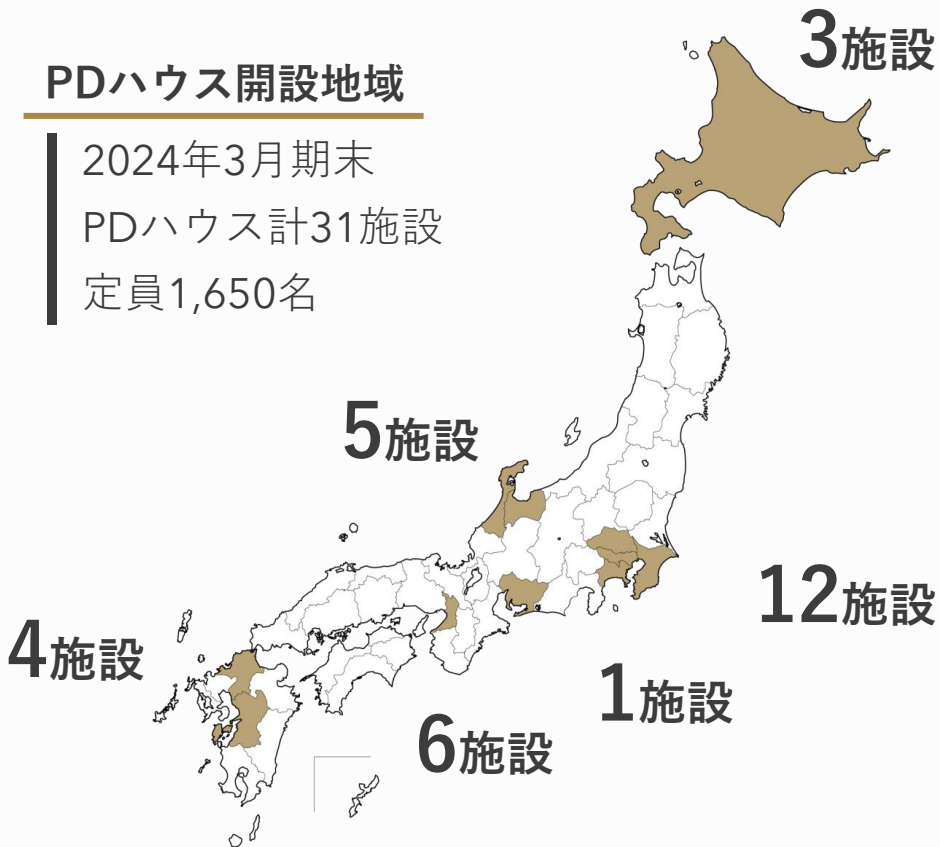
PDハウス定員数の推移 (各期末時点の床数)





# 事業の内容 PDハウスの開設計画(2024年3月期)

- 2024年3月期はPDハウス9施設開設、定員数499名
- 都市部を中心にドミナント展開、地方都市にも大きな発展余地あり



2024年3月期は関東(5)・関西(2)に加え、新エリアの愛知県・熊本県へも展開

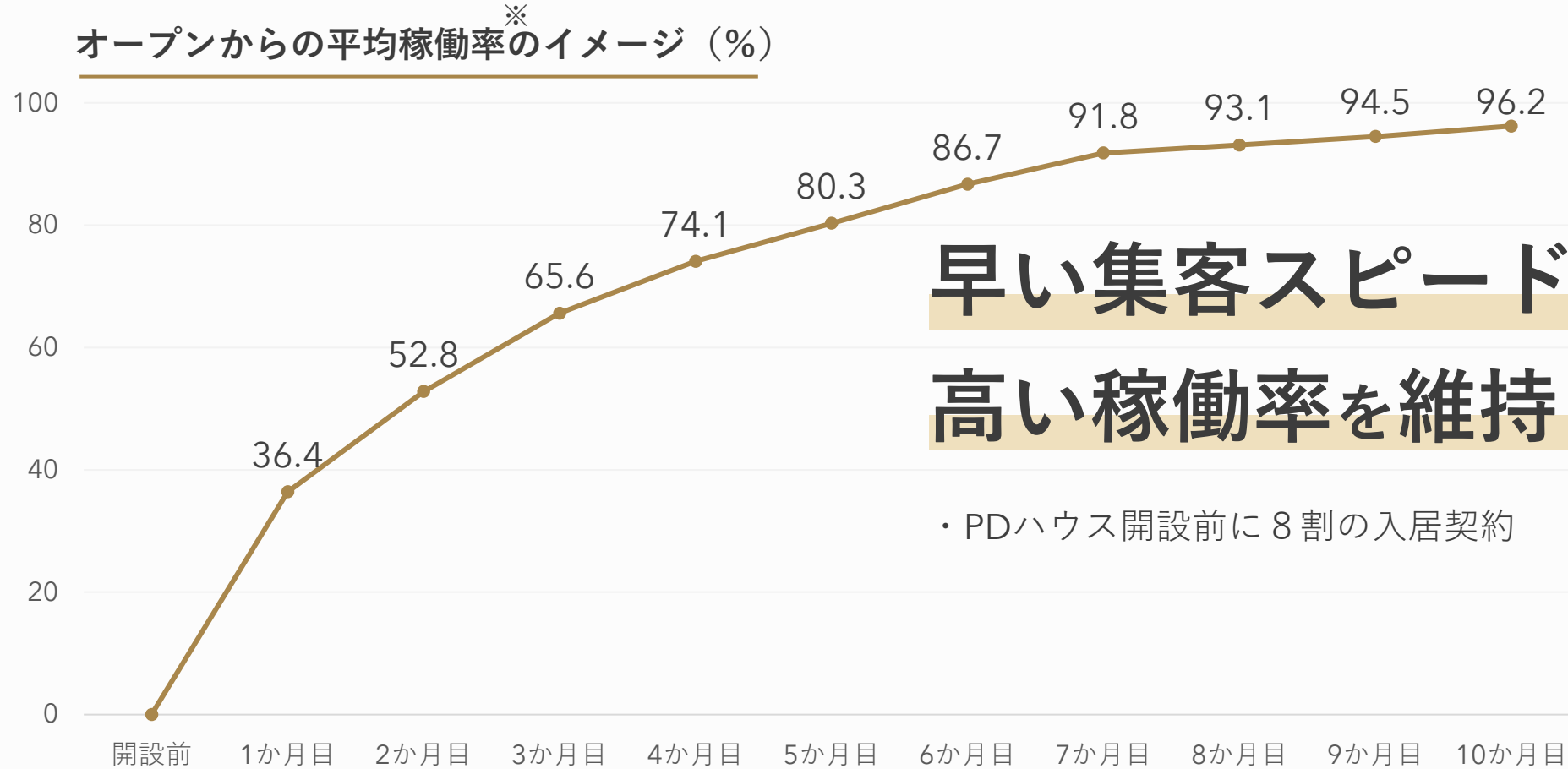
No	開設予定時期	都道府県	名称	定員数(名)
1	2023年 1Q	4月 神奈川県	港南台	60
2		4月 大阪府	城東	60
3		6月 東京都	板橋 II	47
4	2Q	8月 東京都	八王子	50
5		9月 大阪府	東大阪 II	60
6	3Q	10月 東京都	用賀	68
7		10月 熊本県	光の森	53
8		11月 神奈川県	神大寺	48
9		12月 愛知県	平和が丘	53

※ 23年6月開設のPDハウス板橋 II は、既存施設PDハウス板橋と合併予定（定員数に変更はなし）



# 事業の内容 PDハウスの稼働率

■ 現状、全国的にライバルはほとんど見られず、出店地域での差別化に成功。開設から高い稼働率を維持。



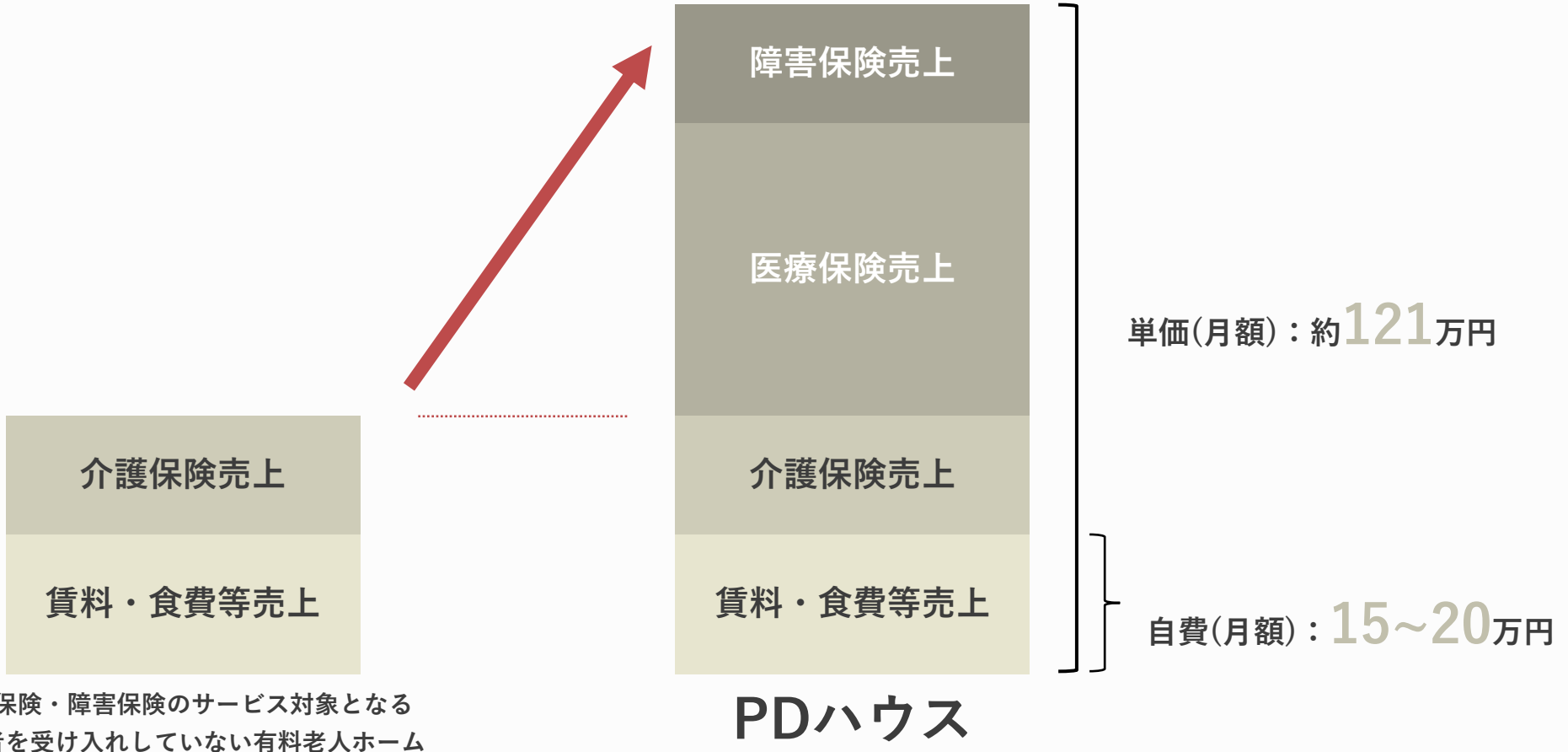
**早い集客スピードと  
高い稼働率を維持**

・ PDハウス開設前に 8 割の入居契約



# 事業の内容 PDハウスの収益構造

- PDハウスでは、介護保険売上と賃料・食費売上に医療保険売上と障害保険売上が上乗せされ、入居者一人当たりの単価が増加





# III. 市場環境

---



# 市場環境



※1 厚生労働省「2021年度衛生行政報告例」(2021年度末現在)、特定医療費(指定難病)受給者証所持者数。本資料作成時点において、弊社のPDハウスはパーキンソン病が進行した患者を入居対象としており、パーキンソン患者のすべてを入居対象とはしていない。

※2 2024年3月期末時点のPDハウス床数の数値は本資料作成時点における弊社の予定であり、実際には外的な要因を含む理由によりかかる数値に達しない可能性がある。

# IV. 競争力の源泉




---



# 競争力の源泉 パーキンソン病とは

脳内のドーパミン神経細胞の変性を主体とする進行性変性疾患で、国の指定難病である。症状は多岐に渡り、世界的にも根治する治療法は確立されていない。病状進行度を表すものとして、以下の表がある。

## ホーエン・ヤール重症度\*の変化 (\*パーキンソン病の進行度を示す指標)

I 度	II 度	III 度	IV 度	V 度
<p>手足の震え 筋肉のこわばり</p> <p>体の片側   体の両側</p>  	<p>小刻みに歩く、 すくみ足がみられ、 転びやすくなる 日常生活に支障が出る</p> 	<p>立ち上がる、 歩くなどが 難しくなる 様々な場面で介助が必要</p> 	<p>車いすが必要になり ベッドで寝ていることが 多くなる 全介助が必要</p> 	

介護サービスが中心

PDハウス入居対象者 = 介護保険 + 医療保険サービスが利用可能

治療における  
3つの課題

- 1 / 通いリハビリにも限度があり、入院以外は**毎日リハビリを受けられる場所がない**
- 2 / 病院に通うことに支障が出始め、**専門医による診察が受けられなくなる**
- 3 / 薬の量や頻度の増加に伴い**適切な服薬管理が難しくなる**



# 競争力の源泉 PDハウスの特徴

## 難病でも自分らしく生活できる施設「PDハウス」の全国展開

パーキンソン病専門施設で、3つの課題を解決するサービスを提供

### パーキンソン病治療 3つの課題

- 1 / 毎日リハビリを受けられる場所がない
- 2 / 専門医による診療が受けられなくなる
- 3 / 適切な服薬管理が難しくなる



### PDハウス3つの サービスで解決

- 1 / パーキンソン病に特化したリハビリプログラム (専門医監修)
- 2 / 神経内科専門の医師による訪問診療
- 3 / 24時間体制の訪問看護・服薬管理



# 競争力の源泉 PDハウスの特徴 ①リハビリプログラムの提供

## ■ 神経内科の専門医師監修によるリハビリプログラムを状態に応じ提供し評価

### 施設内での生活スケジュール例

6:30	起床
7:30	朝食
9:30	■ 個別リハビリ (30分)
10:00	趣味時間
11:00	■ 集団リハビリ (30分)
11:30	■ 口腔嚥下体操 (30分)
12:00	昼食
13:00	レクリエーション
14:00	■ 集団リハビリ (30分)
15:00	入浴
16:00	■ 集団リハビリ (30分)
17:30	夕食
20:00	就寝

1日最大150分のリハビリ提供が可能

### ■ 個別リハビリ

- ・ ガイドラインをベースに、状態に合う最適なプログラムを提供
- ・ 5つの評価項目に沿って状態管理

- ① UPDRS - Part III (病状の進行度の評価)
- ② PDQ - 39 (生活の質の向上度の評価)
- ③ BI (日常生活動作の評価)
- ④ MMSE (認知機能の評価)
- ⑤ InBody (筋肉量の測定)



### ■ 集団リハビリ

- ・ 大学病院監修の体操やパーキンソン病に必要な動き・要素を取り入れた運動中心のメニューを実施
- ・ ゲーム感覚で行え、医学的にも症状改善の効果が検証済



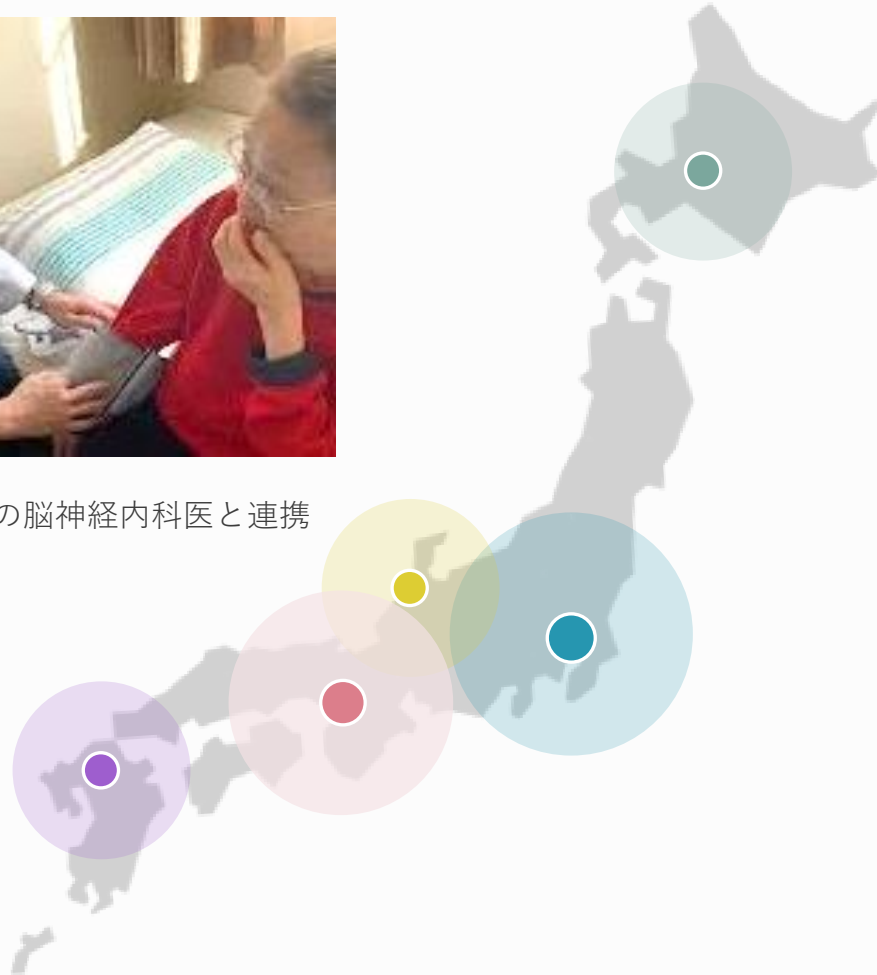


# 競争力の源泉 PDハウスの特徴 ②脳神経内科医との連携

■ 脳神経内科病院と連携し、専門の医師が訪問診療を行う事で入居後も専門的治療を継続できる体制を整備



\* 全国で70名以上の脳神経内科医と連携



## ■ 札幌エリア

脳神経内科医 有吉 直充      ホサナファミリークリニック

## ■ 関東エリア

脳神経内科医 杉山 雄亮      東京通信病院  
脳神経内科医 荻野 裕      豊田内科クリニック  
脳神経内科医 富樫 尚彦      相模原病院  
脳神経内科医 江浦 寛子      あだち在宅診療所

## ■ 北陸エリア

脳神経内科医 濱口 歩      金沢医科大学病院  
脳神経内科医 疋島 貞雄      金沢大学付属病院  
脳神経内科医 柴田 修太郎      金沢大学付属病院

## ■ 関西エリア

脳神経内科医 松本 禎之      脳神経ホームクリニック  
脳神経内科医 宮本 将和      北野病院  
脳神経内科医 柏谷 嘉宏      富永病院

## ■ 福岡エリア

脳神経内科医 坪井 義夫      福岡大学病院  
脳神経内科医 堤 光太郎      つつみクリニック



# 競争力の源泉 PDハウスの特徴 ③24時間体制の看護

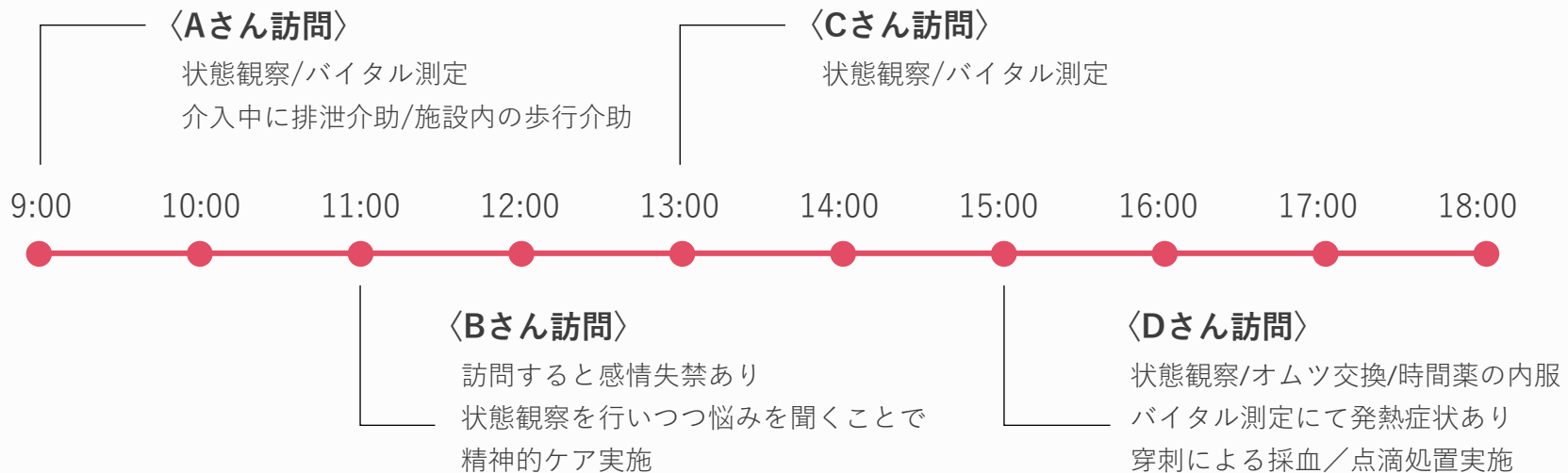
■ 看護師が24時間365日対応することで、細かな症状の変化や副作用の状況も適切に把握し服薬管理が可能。重度になっても「急変時や看取りにも対応出来る体制」を整備。

## ■ 主な業務内容

- ・ 入居者様の健康管理
- ・ 主治医・薬剤師と連携した内服管理
- ・ 喀痰吸引・胃ろう・在宅酸素管理
- ・ リハビリサポート業務



### 【日中の対応例】







## 競争力の源泉 人的資源

### ■ 多くの医療・介護スペシャリストが在籍 資格保有者リスト（2023年3月31日時点）

資格名	人数
介護福祉士	700名
社会福祉士	21名
介護支援専門員（ケアマネ）	66名
正看護師	524名
准看護師	43名
作業療法士	54名
理学療法士	111名
言語聴覚士	25名
柔道整復師	8名
保健師	29名
第一種衛生管理者	19名
第二種衛生管理者	21名
計	1,621名



# 競争力の源泉 研修内容

## ■ 医学部准教授・専門医による職員向け定期セミナーの開催

### 順天堂大学医学部 脳神経内科

順天堂大学医学部 脳神経内科の准教授・講師による当社職員の質向上を目的としたパーキンソン病医療に関するセミナーを開催。

2023年3月期 6回開催

### 製薬会社協賛 当社職員向け研修会

製薬会社協賛のもとPDハウスへ専門医を招き、現地およびZoomを用いた全国配信のハイブリッド方式で研修会を開催。

2024年3月期 4回開催予定

## ■ 社内研修の開催

### 疾患の理解研修

パーキンソン病、進行性進行性核上性麻痺、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、大脳皮質基底核変性症の症状とケアを学び、ケアの質の向上を図る。

# V. 事業計画

---



# 事業計画 2023年3月期実績（予算比較）

■ 売上高・利益ともに予算比プラスで着地、新規施設の早期集客、既存施設の高稼働率維持が牽引

(単位：百万円)

	2023/3期 前回予算	2023/3期 実績	前回予算比(額)	前回予算比(率)
売上高	12,990	13,716	+ 725	106%
営業利益	1,320	1,434	+113	109%
経常利益	1,001	1,140	+139	114%
当期純利益	655	784	+128	120%
①稼働率	90%	96%	—	—
②客単価	1,215千円	1,218千円	—	—
③PDハウス床数	1,047床	1,047床	—	—
PDハウス施設数	20施設	20施設	—	—
④新規施設集客ペース	初月15名、 翌月以降5名増加	初月21名、翌月10名、 3ヶ月目以降5名増加	—	—



# 事業計画 利益計画及び前提条件（2023年3月期～2026年3月期）

## ■ 2024年3月期は前回の計画より新規開設施設を1施設増やし、9施設を開設予定

（単位：百万円）

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予算	2025年3月期 予算	2026年3月期 予算
売上高 (前回計画)	13,716 (12,990)	19,052 (18,840)	24,980 (24,590)	32,352 -
営業利益 (前回計画)	1,434 (1,320)	2,947 (2,923)	4,238 (4,186)	5,990 -
経常利益 (前回計画)	1,140 (1,001)	2,330 (2,255)	3,413 (3,246)	4,885 -
当期純利益 (前回計画)	784 (655)	1,530 (1,477)	2,236 (2,126)	3,201 -
①稼働率 (前回計画)	96% (90%)	92% (92%)	92% (92%)	92% -
②客単価 (前回計画)	1,218千円 (1,215千円)	1,178千円 (1,210千円)	1,184千円 (1,196千円)	1,187千円 -
③PDハウス床数 (前回計画)	1,047床 (1,047床)	1,650床 (1,490床)	2,200床 (1,990床)	2,800床 -
PDハウス施設数 (前回計画)	20施設 (20施設)	31施設 (28施設)	41施設 (38施設)	53施設 -
④新規施設集客ペース (前回計画)	初月21名、翌月10名、 3ヶ月目以降5名増加。	初月15名、翌月以降5名増加。上限は床数の85% (初月15名、翌月以降5名増加。上限は床数の90%)		

- ・ 前回計画とは、2022年6月27日開示の事業計画及び成長可能性に関する事項に掲載した中期経営計画を掲載しております。
- ・ その他計画策定条件については、足元の状況を踏まえ更新しております。KPI等の主要な数字に関しては前回計画と大きく変更はしていません。
- ・ 本中期経営計画の前提としてM&A等は見込んでおりません。



# 事業計画 PDハウスの稼働率<sup>※1</sup>推移

- パーキンソン病患者への訴求が進む
- PDハウス20施設（1,047床）で待機者<sup>※2</sup>は200名超

区別	施設数	定員数 (名)	2022年3月期											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
既存PDハウス (開設：2021.3まで)	6	296	95%	94%	95%	95%	96%	93%	95%	93%	93%	94%	94%	97%
新規PDハウス (開設：2021.4から)	6	317	—	40%	39%	55%	63%	72%	65%	62%	63%	72%	77%	84%
開設施設数			—	2	1	—	—	—	1	1	1	—	—	—
区別	施設数	定員数 (名)	2023年3月期											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
既存PDハウス (開設：2022.3まで)	12	613	92%	94%	96%	97%	96%	96%	97%	97%	97%	95%	97%	96%
新規PDハウス (開設：2022.4から)	8	434	—	38%	57%	60%	70%	65%	59%	71%	67%	69%	74%	82%
開設施設数			—	1	1	1	—	1	2	—	1	1	—	—

※1 稼働率 =  $\frac{\text{各施設の月末入居者数}}{\text{各施設の定員数}}$

※2 待機者：入居申込書取り受けかつPDハウス未入居の方 (2023年3月末時点)



# 事業計画 PDハウスのKPI

## ■ 売上構造で重要なKPI 4項目

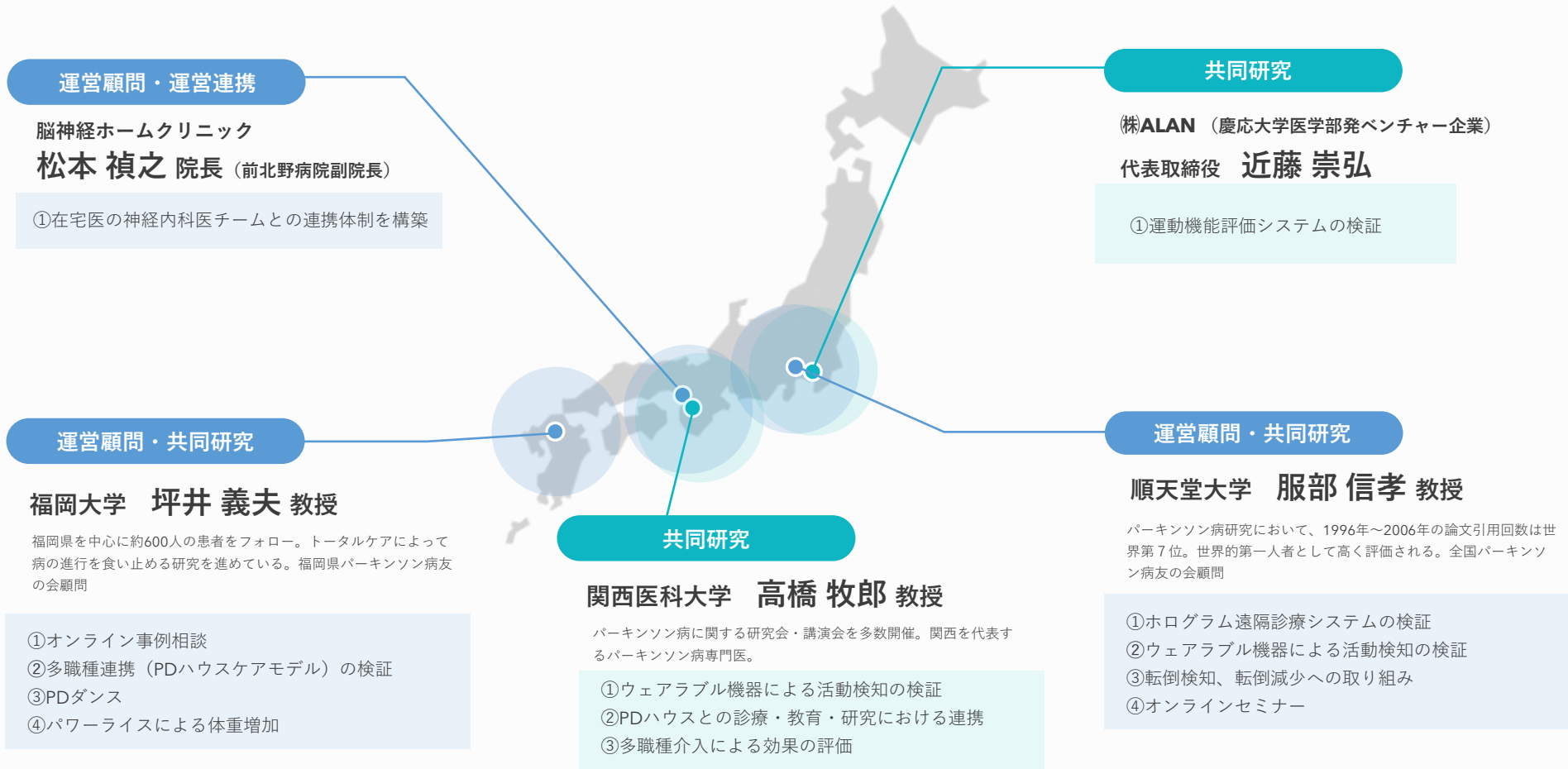
- ① 稼働率（＝各施設の月末入居者数 / 各施設の床数）
- ② 客単価
- ③ 床数
- ④ 新規施設入居ペース

経営指標	指標として採用した理由	予算値（2024/3月期）
①稼働率	売上の構成要素であり重要と判断	92%
②客単価	売上の構成要素であり重要と判断	1,178千円
③床数	売上の構成要素であり重要と判断	1,650床
④PDハウス新規施設入居ペース	新規開設において目安となる集客目標	開設月15名 翌月以降 毎月5名増



# 事業計画 成長戦略① 大学病院・専門病院との共同研究

■ 全国のパーキンソン病研究のトップドクターと研究を進め、より効果的な新サービスの創造を目指す







# 事業計画 成長戦略② 専門サービスの開発

## ■ トップドクターとの共同研究を通じてパーキンソン病のケアにおける新たなサービスを開発中

### ホログラム 遠隔診療システム



2021年に順天堂大学が世界初\*リリースした3次元遠隔診療システム「ホロメディスン」の実証実験を共同実施中

〈期待される効果〉

- ①全身観察が可能となり、より精度の高い診察が可能となる。
- ②通院および待ち時間における身体的苦痛の解消。

2022年7月1日から  
順天堂大学と金沢のPDハウス  
をつないで実証実験開始

\*2022年6月2日に記者会見によりリリース

### 転倒検知システム



転倒検知システム「ミライアイ」を用いた転倒の要因分析研究を共同実施中

〈期待される効果〉

- ①転倒パターン把握することで転倒を未然に防ぐ。
- ②転倒要因の分析による最適な環境調整の実施。

2022年9月16日より検証実施中

### ICTモニタリング



ウェアラブル機器やセンサーを活用して、患者のバイタル、活動量、消費カロリーといったビッグデータを蓄積

〈期待される効果〉

- ①病気の進行状況が数値で確認できることで、高い診療効果が期待される。
- ②24時間の調子の変動を把握することができ、正確な薬剤調整に繋がる。

2019年10月1日より検証実施中



# 事業計画 成長戦略③ 新市場と新サービスへの展開

■ PDハウスで日々蓄積される病状の進捗状況に関する膨大なデータで、病院・大学の研究機関と連携・分析し、パーキンソン病の進行を遅らせる手法の開発につなげ、新市場・新サービスを展開する。

- ① UPDRS – Part III (病状の進行度の評価)
- ② PDQ – 39 (生活の質の向上度の評価)
- ③ BI (日常生活動作の評価)
- ④ MMSE (認知機能の評価)
- ⑤ In Body (筋肉量の測定)
- ⑥ 血圧、脈、体温
- ⑦ 眠リスクャン (睡眠状況のをデジタル)
- ⑧ 投薬記録

× 患者数のデータ

× 検証  
解析  
実証

全国のPDハウス



共同研究



専門医  
大学病院



- リハビリプログラムの効果検証と継続的バージョンアップに活用する。
- 3次元遠隔診療・ICT技術等を活用し産学連携治療に展開する

新市場・新サービスへの展開



# 事業計画 成長戦略④ アメリカの大学病院との連携検討

## ■ 2023.5 フロリダ大学病院視察



順天堂大学 医学部附属 順天堂医院 脳神経内科 大山彦光准教授ら同行の下、世界有数の最先端のパーキンソン病（以下P D）治療の見学及び日本とアメリカにおけるP D患者様のケアや環境に関するディスカッションを実施。UFの先生方と意見交換では、当社が取り組んでいる重度のP D患者様に対するケアについて「アメリカでも日本と同様に重度になると専門的な治療が継続できていない」といった共通の課題も顕れた。



# 事業計画 IPOによる調達資金の用途

## ■ 予定通りPDハウスの開設及び借入金返済に充当

(単位：百万円)

項目	調達資金	用途予定時期					
		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
		予定	実績	予定	実績	予定	実績
設備資金	1,670	649	649	709	—	312	—
借入金返済	2,238	2,238	2,238	—	—	—	—

# VI. リスク情報

---



# リスク情報

項目	内容	主要な取り組み	影響度	蓋然性
人材の確保	医療・介護業界における求人競争の激化	人材採用の専門部署による求人サイトやメディアの利用し効果検証と積極的かつ効果的な採用活動の実施	大	小
新規施設の開設	希望する立地が確保できない場合 プロジェクトが遅延した場合	各種調査の実施、様々な角度から物件の検証を行う	大	小
感染症の流行・自然災害	大地震・台風等の自然災害が発生 新型コロナウイルス等感染症の流行	危機管理体制の整備・災害に備えての食料備蓄の実施	中	中
コンプライアンス	SNSへの書き込み、ハラスメント等、多岐にわたるコンプライアンス上の問題の発生	研修を始めとした日常的なコンプライアンス意識と行動の徹底・内部通報制度の整備運用	中	大

※上記リスクについては、事業遂行において特に重要な影響を与えるリスクを抜粋し前回より項目を変更しております。  
ただし、その他リスクについては、従来通り 有価証券報告書【事業等のリスク】に記載しておりますので、ご参照ください。

# VII. Appendix

---



# 損益状況

(単位：百万円)

	21.3期		22.3期			23.3期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
<b>売上高</b>	<b>5,404</b>	<b>100.0%</b>	<b>8,419</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,015</b>	<b>13,716</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,296</b>
売上原価	4,028	74.5%	6,314	75.0%	2,286	9,971	72.7%	3,656
<b>売上総利益</b>	<b>1,376</b>	<b>25.5%</b>	<b>2,105</b>	<b>25.0%</b>	<b>729</b>	<b>3,745</b>	<b>27.3%</b>	<b>1,640</b>
販管費	1,054	19.5%	1,615	19.2%	561	2,311	16.9%	696
<b>営業利益</b>	<b>322</b>	<b>6.0%</b>	<b>490</b>	<b>5.8%</b>	<b>168</b>	<b>1,434</b>	<b>10.5%</b>	<b>943</b>
営業外収益	43	0.8%	25	0.3%	△18	110	0.8%	84
営業外費用	49	0.9%	167	2.0%	118	403	2.9%	236
<b>経常利益</b>	<b>316</b>	<b>5.8%</b>	<b>348</b>	<b>4.1%</b>	<b>32</b>	<b>1,140</b>	<b>8.3%</b>	<b>791</b>
<b>当期純利益</b>	<b>241</b>	<b>4.5%</b>	<b>255</b>	<b>3.0%</b>	<b>14</b>	<b>784</b>	<b>5.7%</b>	<b>528</b>





# 財務狀況

(単位：百万円)

	21.3期		22.3期			23.3期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
流動資産	1,585	33.1%	2,547	28.3%	962	5,425	28.2%	2,878
固定資産	3,202	66.9%	6,468	71.8%	3,266	13,786	71.8%	7,318
<b>資産合計</b>	<b>4,788</b>	<b>100.0%</b>	<b>9,015</b>	<b>100.0%</b>	<b>4,227</b>	<b>19,211</b>	<b>100.0%</b>	<b>10,196</b>
流動負債	1,650	34.5%	3,116	34.6%	1,466	3,240	16.9%	123
固定負債	2,444	51.0%	5,034	55.8%	2,590	10,600	55.2%	5,566
<b>負債合計</b>	<b>4,094</b>	<b>85.5%</b>	<b>8,150</b>	<b>90.4%</b>	<b>4,056</b>	<b>13,840</b>	<b>72.0%</b>	<b>5,690</b>
<b>株主資本</b>	<b>693</b>	<b>14.5%</b>	<b>864</b>	<b>9.6%</b>	<b>171</b>	<b>5,366</b>	<b>27.9%</b>	<b>4,502</b>
利益剰余金合計	576	12.0%	747	8.3%	171	1,317	6.9%	569
<b>純資産合計</b>	<b>693</b>	<b>14.5%</b>	<b>864</b>	<b>9.6%</b>	<b>171</b>	<b>5,370</b>	<b>28.0%</b>	<b>4,506</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,788</b>	<b>100.0%</b>	<b>9,015</b>	<b>100.0%</b>	<b>4,227</b>	<b>19,211</b>	<b>100.0%</b>	<b>10,196</b>



# 財務状況

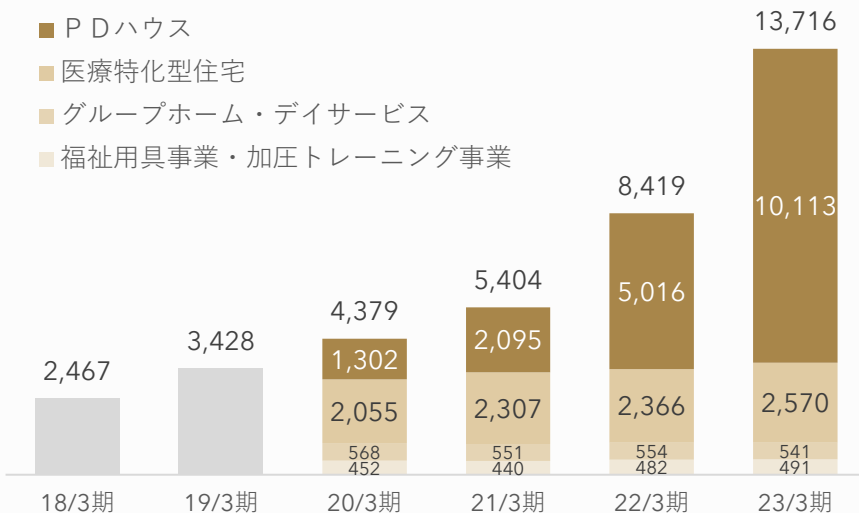
(単位：百万円)

	21.3期	22.3期	23.3期
営業活動によるキャッシュ・フロー	201	378	1,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△648	△633	△2,041
フリー・キャッシュフロー	△447	△254	△900
財務活動によるキャッシュ・フロー	489	573	2,696
現金及び現金同等物の増減額	42	318	1,795
現金及び現金同等物の期首残高	453	496	814
現金及び現金同等物の期末残高	496	814	2,610

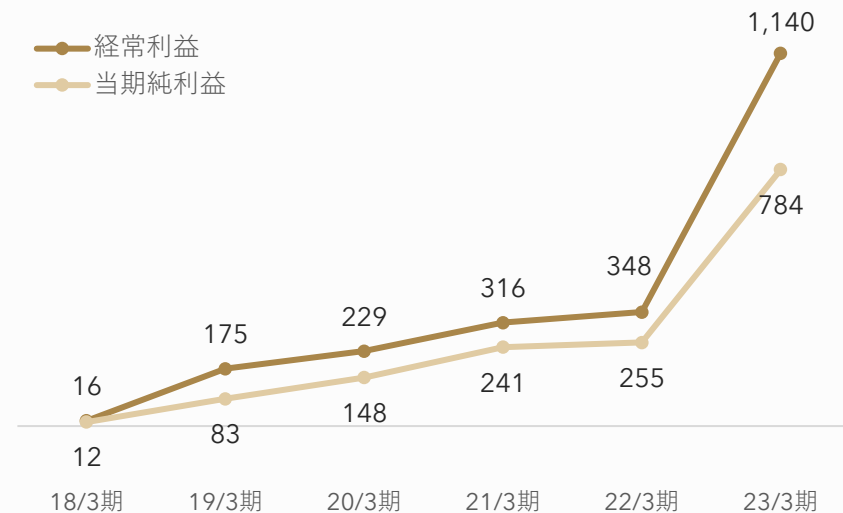


# 財務ハイライト

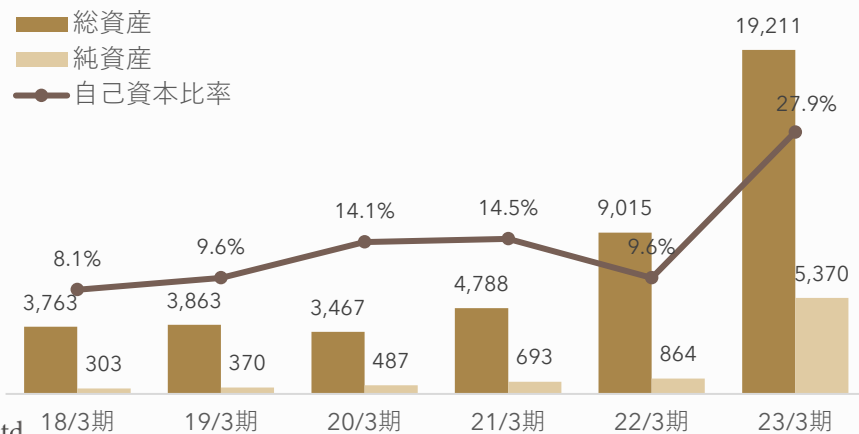
### 売上高 (百万円)



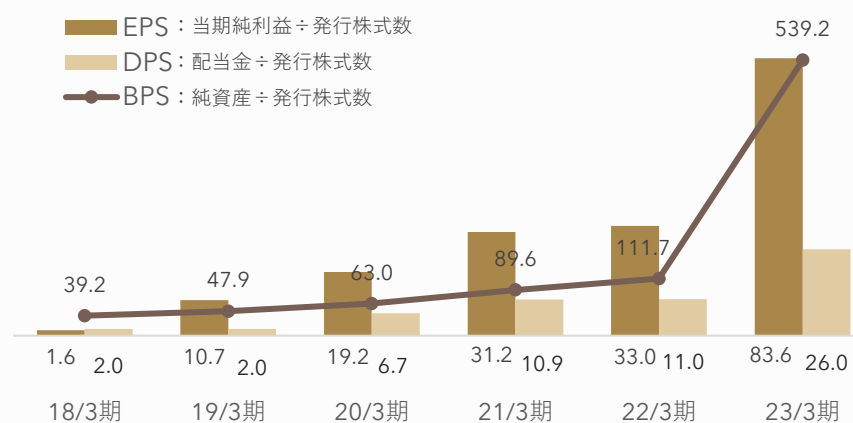
### 利益 (百万円)



### 総資産額・純資産額(百万円)・自己資本比率



### EPS・DPS・BPS (円)





# 免責事項

本資料は、株式会社サンウエल्ズ(以下「当社」といいます)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。

本資料には、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報をもとに、本資料の作成時点における当社の判断に基づいて記載したものであり、また、一定の前提(仮定)の下になされています。そのため、これらの記述または前提(仮定)は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の結果はこれと大幅に異なる可能性があります。したがって、これらの将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

また、本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報は、公開情報または第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

次回の「事業計画及び成長可能性に関する事項」は2024年6月の有価証券報告書提出時に開示いたします。